

入院患者の家族が宿泊「ファミリーハウス」

低料金に高まる需要

患者が自宅から遠く離れた病院に入院する際に、付き添いの家族が低料金で宿泊できる施設。それが「ファミリーハウス」だ。難しい治療のため、高度な医療を求めて都市部の病院に集中する傾向が強まり、需要は高まっている。ファミリーハウスの誕生と運営機関、道内の主な施設などを紹介する。

(伊東正剛)

道内の主なファミリーハウス			
名称	住所	受付電話番号	料金(1泊)、滞在条件など
北海道厚生年金会館	札幌市中央区北1西12	011-231-9551	2500円。1週間以内。紹介状必要
ナムズビル	札幌市中央区北4西13	011-716-4161※	2000-2500円。1週間以上
アイリスセブン	札幌市中央区北7西15	011-716-4161※	1800-2200円
札幌大病院	札幌市南区南1西17	011-611-2111	2000円。同病院入院患者の家族用
メルバルク(3月30日まで)	札幌市南区南1西27	011-642-4321	2500円。1週間以内。紹介状必要
女子学生寮 松英舎	札幌市南区南2西20	011-716-4161※	2000-2200円。女性専用
北海道医療センター	札幌市南区南4西10	011-512-3233	1900-2400円。5泊以内
ファミリーハウス シンノオル	札幌市南区南4西16	011-716-4161※	1700-2000円
コウハウス	札幌市南区南9西12	011-716-4161※	1000-1050円
グリーンハイム	札幌市北区北14西1	011-716-4161※	2200円。10日以上
北大病院	札幌市北区北14西5	011-706-7088	1700-1800円。同病院入院患者の家族用
サンライズ17	札幌市北区北17西5	011-716-4161※	1800-2000円。1週間以上
グレースマンション	札幌市北区北23西6	011-716-4161※	2200円。10日以上
札幌サンプラザ	札幌市北区北24西5	011-758-3112	2500円。1週間以内。紹介状必要
ノース15	札幌市東区北15東6	011-716-4161※	1800-2300円。3泊以上
コーポ18	札幌市東区北18東2	011-716-4161※	1300-1700円
ファミリーハウスあんど	札幌市白石区菊水1の4	011-716-4161※	2000-2500円
札幌北極病院	札幌市東区東札幌6の6	011-865-0111	1000円。同病院入院の重症患者の家族用
シャネル中の島6番館	札幌市豊平区中の島1の8	011-716-4161※	2100-2200円
第5丸井ハウス	札幌市豊平区平岸1の5	011-716-4161※	2000-2500円
旭医大病院	旭川市緑が丘東2の1	0166-69-3008	1700-1800円。同病院入院患者の家族用
北海道骨髄バンク推進協会旭川支部	旭川市3の2	0166-27-1414	2000円。2泊目から1000円。小学生以下無料
下宿 一竹	函館市海岸町18の23	0138-23-6007	2800円。2食付き
シーサイドテラス海の時計	宇賀浦町7の8	0138-32-0331	2500円。3泊以上
ファミリーハウス武山	釧路市豊川町	0154-22-0208	2000-2500円
日鋼記念病院	室蘭市新室町1	0143-24-1331	2000-2400円。同病院入院患者の家族用
びせい館	帯広市西7南9	0155-22-5754	2500円

注) 料金などは3月5日現在。※は受付窓口の北海道ファミリーハウスの電話番号。月曜-金曜の午前10時~午後4時に受け付ける

ファミリーハウスの利用法

北海道ファミリーハウスに登録している札幌市内の施設は同ハウスが受付窓口。それ以外の、病院の付属施設として設けられているファミリーハウスと北海道医療センター、客室を提供しているホテル、札幌以外の施設は直接電話で申し込む。ホテルは病院からの紹介状が必要などがあるところがある。バス、トイレ、台所などの設備はそれぞれの施設で異なり、宿泊料金のほかに寝具代や、暖房、給湯費がかかることがあるため事前に確認すること。



「家族がそばにいることで患者さんの回復が早まることを実感した」と、自分が所有する旭川市内のマンションと

「戸建て住宅を提供しているのが、北海道骨髄バンク推進協会旭川支部の喜多磨見支部長(左)。白血病の治療を受けた子にとって、親が付き添っていることが落ち着き、治療効果も良くなる事例が多かったという。三十年ほど前から始め、料金も一泊目は一千元だが二泊目以降は半円にしている。最近、旭川の脳外科医らの治療を希望して東京や大阪など道外から訪れる患者と家族もいるという。」

回復早まる事例も

付き添いの効用

「施設によっては子供に限りず大人の患者の家族を受け入れる所も増えている。九一年に国立がんセンター中央病院小児科に入院していた子供の母親たちが運動を始めた。施設によっては子供に限りず大人の患者の家族を受け入れる所も増えている。」

母親たちの運動で誕生

難病の子が長期入院 重い負担

根室管内別海町の山田亮輔君(二)は、耳の病気を治療するために札幌大病院に一月間の子供で入院中だ。母親の由美さん(四)が、病院敷地内にある付属のファミリーハウスに宿泊しながら付き添っている。

料金は一泊千円。他に寝具代がかかるが、「ホテルに泊まるのを考えると経済的に助かる」。昨年治療のため

道内で、その運動の中核を担うのがボランティア団体「北海道ファミリーハウス」。〇〇年十一月に発足した。病

病院周辺の空室 所有者が提供

協力募る「北海道方式」

にも重い負担を抱える。一九

九一年に国立がんセンター中央病院小児科に入院していた子供の母親たちが運動を始めた。施設によっては子供に限りず大人の患者の家族を受け入れる所も増えている。